

# タイトル 歯科診療における業務分散化の取組

リモート  
アクセス

申請事業者：佐野歯科（宮崎市）  
業種：製造業・その他

コンサル事業者：株式会社システム開発（宮崎市）  
業種：情報サービス・情報通信業



## ポイント システムの複数台運用とリモート化で業務効率化を実現！

### 取組の概要

導入部門：歯科診療（5名体制）  
導入業務：受付業務（1名体制）レセプト業務（2名体制）  
目的：業務の効率化とリモート化の実現  
ツール：歯科カルテシステム（PrecioSmart）  
手法：システムのリモート化と複数台での運用  
規模：予約 40件/日 1名体制の業務  
レセプト枚数 400枚/月 2名体制の業務（先生とスタッフ1名）  
導入費用：1,400千円（ソフトウェア 1,150千円：コンサル 250千円）

#### 導入前

- 受付業務 → 受付1台で対応
- カルテ入力 → 受付1台でスタッフ複数対応
- レセプト業務 → 受付1台で複数人対応



#### 導入後

- 受付業務 → 複数台で効率よく対応
- カルテ入力 → 複数台でスタッフそれぞれが効率よく対応
- レセプト業務 → 場所を選ばずリモートによる作業

### 取組の背景

- コロナ禍で待合室が密にならないようにしたい。
- 受付に1台しかシステムがないため業務が非効率と考える。
- 診療時間以外でも自宅で作業を行いたい。
- 複数のスタッフで業務の分散化を行いたい。



- システムを複数台導入することで業務のスピードアップを期待。
- 待合室での患者の滞在時間を減らすことができる。
- システムのリモート化の実現により場所と時間を選ばず業務ができる。

### 取組の成果

- システムの複数台導入により密を避け業務の効率化が可能に。
- システムのバージョンアップにより、リモートでの作業が可能に。  
(診療後のレセプト業務、2時間/日をリモートにより“0”に削減)
- 今後、訪問診療で外出した際の入力業務につながる。
- 受付での患者様対応の時間が短くなり、コロナ禍の中、待合室の密を防ぐことができる。  
(待合室の滞在時間平均15分/人を要していたが平均4分/人まで短縮)  
(車内で待機させていた患者、平均8人/日を“0”に削減)